

お客さま各位

## 原料費調整制度に基づく平成30年7月検針分のガス料金について

吉田ガス株式会社は、原料費調整制度に基づき平成30年7月検針分の単位料金を1<sup>m</sup>につき9.59円(税込)調整させていただきます。この調整により、標準的なご家庭(1か月に23<sup>m</sup>ご使用)で平成30年6月検針分に比べ、10円(税込)ガス料金の値上げとなります。  
なお、今回の調整は平成30年2月から平成30年4月の平均原料価格に基づくものです。

平成30年7月検針分に適用される料金表  
一般ガス供給約款における料金表 (45Mj) (税込)

	料金表A 0～9m <sup>3</sup>	料金表B 9～23m <sup>3</sup>	料金表C 23～62m <sup>3</sup>	料金表D 62～151m <sup>3</sup>	料金表E 151m <sup>3</sup> ～
基本料金	919.08円	1,512.00円	1,620.00円	1,814.40円	1,846.80円
平成30年7月従量料金	249.46円	187.61円	183.11円	179.99円	179.78円
平成30年6月従量料金	249.06円	187.21円	182.71円	179.59円	179.38円

標準家庭における当月ガス料金 (税込)

	平成30年7月	平成30年6月	増減額
1ヶ月あたりガス料金	5,827円	5,817円	10円

注) 1. ガス料金(早収料金) = 基本料金 + (従量料金 × ご使用量) 1円未満端数切捨  
2. 標準家庭での使用量は、23<sup>m</sup> / 月(当社の家庭用平均使用量)として算定しています。

原料費調整額の算定 (平成30年7月検針分)

基準平均原料価格	41,570円/t	平成28年10月～平成28年12月期
LNG輸入価格平均値(貿易統計値)	52,060円/t (10円未満 四捨五入)	平成30年2月～平成30年4月期
プロパン輸入価格平均値(貿易統計値)	58,830円/t (10円未満 四捨五入)	平成30年2月～平成30年4月期
平均原料価格	53,660円/t (10円未満 四捨五入)	= LNG輸入価格平均値 × 0.9771 + プロパン輸入価格平均値 × 0.0474
原料費変動額	12,000円/t (100円未満 切り捨て)	= 平均原料価格 - 基準平均原料価格
原料価格が1トン当り100円変動した場合のガス料金1 <sup>m</sup> 当りの価格変動額	0.074円/m <sup>3</sup>	45MJ
平成30年7月検針分 調整額(税込)	9.59円/m <sup>3</sup> (小数点第3位切り捨て)	= 12,000 × 0.074円 ÷ 100円 × 1.08(税込)
対前月 調整額(税込)	0.40円/m <sup>3</sup>	= 当月調整額 - 前月調整額

注) 1. 原料費調整制度とは、経済情勢の変化を迅速に反映した料金とするため、原料費の変動に応じ毎月料金を見直す制度です。  
2. 基準平均原料価格は平成28年10月～12月期の輸入液化天然ガス価格(40,560円/t)、輸入液化プロパン価格(40,920円/t)に上記平均原料価格と同様の係数を乗じております。

以上